

将来の医療・医学を創生する君たちへ

なが ひろ しん じ
 医学部・医学科・教授 永 廣 信 治

入学おめでとございます。新入生の皆さんはそれぞれに医療、医学に貢献しようと、夢と希望に燃えて入学されたことと思います。社会に出て大きく貢献するためには、大学時代にしっかりと基礎知識と基本的技能を修得し、応用力と実行力をつけ、人間性を磨いていく必要があります。社会からは知識だけでなく、しっかりした技能と態度、人間性を有し、患者さんや家族の人達と良好なコミュニケーションを築ける医療人の育成が望まれているからです。大学での医学教育の現況とあなたに期待する点について述べます。

医学教育について

医学部では全国的に教育改革が進められています。生命科学領域の進歩が著しく、覚えるべき知識の量も膨大化しているため、従来の知識伝授型教育（講義中心）のみでは対応できません。高校までのように知識を詰め込むだけではなく、どのように学習し知識を獲得していくかという自学自習の方法を身につけるのがむしろ重要なのです。そのために医学科では1 2年生の共通教育の時期から、基礎医学の講義や実習がはじりますし、3 4年生ではチュートリアル教育という新しい教育が平成13年から導入されています。チュートリアル教育とは、少人数（8名前後）の学生と一人の教官（チュートリアル舵取り役）がグループとなり、グループ内のメンバーと協力して自

学自習しながら課題を勉強し解決していくこととするものです（少人数型、課題解決型学習）。課題に関連した講義をさみながら、あるテーマ（例えば消化器とか脳・神経系とか）を数週間集中的に勉強していきます。今までの講義はサボろうと思えば自分の責任においてサボれましたが、このチュートリアルを自分勝手に休むと他のメンバーに大きな迷惑をかけることとなります。あなた方も自ら積極的に取り組みあるものにしてください。

さらに医学科では5 6年生になると、臨床実習が行われます。昔は見学が中心でしたが、最近は医療チームに自ら参加して、実際に患者さんに接しながら学ぶこととなります。大病院以外の病院で実習する機会も設けていますので、積極的に取り組んで下さい。また1 2年生や低学年の時期にも、早く医療の現場を体験し感性を高めてもらう目的で、看護体験実習や救急医療実習、社会医学実習（保健所や介護施設での実習）などを行います。実際に患者さんや家族と接するわけですので、身なりや言葉遣い、態度は医学部学生として恥ずかしくないように気をつけて下さい。

さらに医学部では研究という重要な魅力ある仕事があります。学生時代にこの医学研究にも取り組めるように、各基礎医学教室を中心に1 2ヶ月じっくり研究を体験できる研究室配属という制度があります。是非、積極的に研究室にも出

入りして下さい。また研究に興味を持つたら、医学科では臨床実習に進む（5年生）前に一時的に大学院（3 4年間）で研究に専念して医学博士を取得する道も開かれました（MD-PhD制度）。研究後に再度、5年生に戻って臨床を勉強することが可能です。

サークル活動

勉強することは多くて、サークル活動ができないのではと考えるかもしれませんが、そのようなことはありません。むしろ、スポーツやサークル活動を通じて心身が鍛えられるだけでなく、チームワークの精神やコミュニケーション能力、強く優しい人間性が磨かれます。私自身も学生時代は柔道部に所属し多くの時間を費やしましたが、それによって培われたものは大きかったと実感しています。野球、ラグビー、テニス、音楽、ダンス、何でもいいですから、是非サークル活動に参加して下さい。趣味をいかながら且つ時間を有効に使って学問を成就することが、将来医療人として楽しく仕事をしていくためにも重要なことなのです。

現在、社会からは医療・医学に対する批判的な目が厳しく注がれています。しかし、将来の医療・医学は君たち若者によって創生され、すばらしいものに変わっていくことと思えます。若き力に期待しています。